

総合計画「後期基本計画」 (素々案) の概要

令和2年2月
袋井市

(企画財政部 企画政策課 企画係)

後期基本計画の策定体系

「基本構想（10年間）」の部分（そのまま後期に継承）



「後期基本計画」の部分（今回はこの部分の計画を策定）

後期基本計画の構成

分類	内容	対応
序	第1章 計画の意義と特徴	変更なし
	第2章 計画の構成と期間	変更なし（年号等を一部修正）
	第3章 時代の潮流	R2年度更新（最新の情報を踏まえて策定）
	第4章 市政に対する市民ニーズ	R2年度更新（R2年度市民意識調査を反映）
第1編 基本構想	第1章 基本構想策定の目的	変更なし
	第2章 まちの将来像	変更なし
	第3章 まちづくりの基本目標	変更なし
第2編 基本計画	第1章・第1節 将来人口	R2年度更新（袋井市人口ビジョン（R1点検）を反映）
	第1章・第2節 土地利用	R2年度更新（袋井市都市計画マスタープラン（H30改定）を反映）
	第1章・第3節 財政計画	R2年度更新（令和2年度袋井市財政見通し（R2作成）を反映）
	第2章 行政経営方針	変更なし（第2次行政改革大綱／計画期間：H28～R7年度）
	第3章・第1節 施策体系	後期基本計画（素々案）のとおり改定
	第3章・第2節 政策・取組	後期基本計画（素々案）のとおり改定
	第3章・第3節 分野横断型施策	R2年度更新（分野横断型WGの検討を踏まえ整理）
付属資料	策定体制・経過、政策別取組別指標	R2年度更新（指標については仮設定済）

今回は
ここを審議



政策1（子育て・教育）

○取組1（子育て）は、支援する側、される側に分かれるのではなく、地域の住民相互の助け合い、即ち皆が地域とのつながりを持って支援し合うことが重要であるため、取組名の一部（市民総参加で⇒みんなで支え合う）を変更

○取組3（生涯学習）は、子どもだけでなく、全ての年代の「人づくり」を目的とした取組であることから、政策6（協働・地域・歴史・文化・国際交流）内に移動して位置づけ。また、政策6の取組2の一部（文化・芸術）を取組内に位置づけ

政策2（健康・医療・福祉・スポーツ）

○変更無し

政策3（都市・環境）

○取組6（ICT）は、各施策で掲げる目標を達成するためのツールである（目的ではない）ため、各取組の中にICTの活用を位置付けていくこととし、個別の取組としては削除

前期計画（6政策27取組）からの主な変更内容

政策4（産業・就労）

○取組5（雇用）は、市が独自で展開できる施策が限定的であること、また、本市の産業等での人材不足を補う観点から、取組を基本方針の一つに再編して政策4の取組1（新産業・工業）の中に位置づけ（個別の取組としては削除）

政策5（防災減災・交通安全・防犯）

○変更無し

政策6（協働・地域・歴史・文化・国際交流・共生）

○取組2（多様な文化の創造）の構成要素（「文化・芸術」「国際化・多文化共生」）をそれぞれ他の政策・取組に再編（個別の取組としては削除）

○「文化・芸術」は、地域の「人づくり」という目的が共通する政策6・取組2〔※前期計画の政策1・取組3〕（生涯学習）の中に位置づけ

○「国際化・多文化共生」は、「多様性を活かす」という目的が共通する政策6・取組3（共生社会）の中に位置づけ

前期計画（6政策27取組）からの主な変更内容（視点）

政策1・取組1（みんなで支え合う子育て環境の充実）

○子育て支援施設など環境整備から内容の充実や質の向上を重点に変更

政策1・取組2（未来に輝く若者の育成）

○令和2年度から全面実施する「幼小中一貫教育」の理念等を反映

○「自己有用感・自己肯定感」や「考える力」の育成を具体的に記述

政策2・取組1（生涯しあわせに暮らす健康づくりの推進）

○全世代を通じた健康づくり推進を反映

○受動喫煙防止等たばこによる健康被害防止の強化を反映

政策2・取組2（いきいきと暮らせる健康長寿の推進）

○「地域包括ケアシステム」の実現に向け、高齢者の見守りや支え合う「互助」の推進とその仕組みづくりを中心とした取組を反映

政策2・取組3（安心できる地域医療の充実）

○医療人材の育成や適正な医療機関の活用（かかりつけ医・コンビニ受診の抑制）などについて具体的に記述

前期計画（6政策27取組）からの主な変更内容（視点）

政策2・取組4（自分らしく暮らせる障がい者支援の推進）

○障がい者が支援を受けるだけの存在ではなく、障がい者が有している特性を地域社会に活かしていく視点を具体的に記述

政策2・取組5（親しみやすい市民スポーツの推進）

○ラグビーワールドカップや東京オリ・パラの開催（アイルランドオリンピックチームの事前キャンプの受入）を契機として地域づくりや国際交流をさらに進め、「スポーツを活かしたまちづくり」を推進していくことを具体的に記述（基本方針を新設）

政策3・取組1（暮らしたくなる都市拠点の創出）

○自動運転など次世代公共交通ネットワークの研究などについて記述

○空き家対策をまちづくり事業との連携や既存住宅の流通促進といった施策と一体的に取り組むものとして整理

政策3・取組2（誰もが移動しやすいまちづくり）

○「地域公共交通網形成計画」に基づいて、行政・交通事業者・住民が今まで以上に連携し、本市の公共交通の維持と活性化を目指すことを具体的に記述

○道路の量的確保から質的向上への転換など、具体的な考え方について記述

前期計画（6政策27取組）からの主な変更内容（視点）

政策3・取組3（花と緑と水のまちづくり）

○公園や水辺空間（ミズベリング）の効果的かつ付加価値創出につながる利活用を進めるなど、公民連携の視点を反映

政策3・取組4（恵みある河川・海岸づくり）

○地域の活性化を目的とした袋井幸浦の丘プロジェクトワークショップについて記述

政策3・取組5（豊かな環境の醸成と継承）

○スマートライフ（創エネ・蓄エネ・省エネ）の推進について具体的に記述

政策4・取組1（産業の新たな展開の推進）

○「Society5.0社会」を踏まえた考え方を具体的に記述

○高齢者の就労促進について記述

政策4・取組2（戦略的な観光の推進）

○SNSなどの活用による情報発信力の強化やVR、ARなどの新技術の導入、観光の広域連携を進めるためのDMOの設置検討などを具体的に記述

前期計画（6政策27取組）からの主な変更内容（視点）

政策4・取組3（経営力の高い農業の振興）

○持続可能な農業に向け、ICTなどを活用したスマート農業等による生産性向上や農地の持つ防災機能について具体的に記述

政策4・取組4（魅力的な商業の振興）

○（仮称）袋井新産業会館「キラット」の開設を契機として、民間団体や企業と連携して中心市街地のにぎわいづくりを進めていくことを具体的に記述

政策5・取組1（地震災害に強いまちづくりの推進）

○災害時要配慮者への支援など自助・共助を一層推進していくことを具体的に記述
○原子力災害広域避難計画の策定に基づく対応などについて反映

政策5・取組2（治水・治山対策の推進）

○水害対策について外水対策を含め具体的に記述
○基本方針に洪水・土砂災害からの避難対策を新設

政策5・取組3（交通安全・防犯対策の推進）

○高齢者の免許の自主返納について記述

前期計画（6政策27取組）からの主な変更内容（視点）

政策5・取組4（消防・救急救助体制の充実）

- 袋井消防庁舎・袋井市防災センターの活用や消防団充足について記述
- 火災予防推進にあたり高齢者に加え、外国人へのアプローチを記述

政策5・取組5（安全な水の安定供給）

- 業務の広域化やICTの活用など持続可能な経営に向けて具体的に記述

政策6・取組1（市民と行政の協働によるまちづくり）

- 外国人の地域参加や地域づくり活動への多様な関わり方への環境整備について記述

政策6・取組2（教養ゆたかな人づくり）

- 生涯を通じた学びについて整理・記述
- 教育文化施設が相互に学び合い、交流を生む場であることを具体的に記述

政策6・取組3（共生社会の推進）

- 多様性の尊重やその実現に向けた多様な主体の連携について具体的に記述